

もりってどんなところ？

たのしいものがたくさんおちていて、
きがたくさんたっていて、

どうぶつがいそうでおもしろくって、
きれいなおちばとかおちているのがたのしい。

ワクワクしちゃって

きがいっぱいゆれているからおもしろい。

きがたくさんあるから

かくれんぼやおにごっこもできるしふしぎなところ。



どうしてきははえてくるのかな～っておもっちゃう。

どうしてもりはできたのかな～とおもう。

ワクワクドキドキしちゃうかんじ。

はっぱがいっぱいあるからおりょうりもできる。

どんぐりやまつぼっくりもたくさんあるから

おりょうりができる。

もりにはかわがながれているからみずくさもあって

ほうきであつめてふかふかのクッションもつくれる。

もりのなかはさむくてかぜがふくときもちがいいからたのしい。

とりのはねとかおちているとワクワクしちゃう。
でもバイきんもっているからひろわない。
でももりってふしぎだな～どうしてできたんだろうとおもう。
ゆきがふったらゆきとかきもちいいから
もりへいきたいな～とおもう。

もりはふしぎ。
あめがふったらぬれているはっぱがあっておちばがすごくきれい。
ふゆになるとはっぱがうまっていてつめたくてきもちいい。

あきてきたな～とおもうともりのことをかんがえてみる。
どんなにたのしいかな～ってかんがえてみる。

もりができてくれてよかったとおもう。
はらぺこみんながあそぶもりだから。
ぼくらのあそぶところ。
だからもりになんかいもいきたい。

はるになったらすいろであそべる。

いつもひろったはっぱをどうしようかなとおもっている。

おはなもたくさんある。

しかのつのもさがせる。

じぶんにとってはもりはどうしてできたんだろう。

どうしてこんなにたのしいんだろうとおもう。

はらぺこにはいるまえは

もりはどんなんかな〜とおもっていたけど。

きのぼりもできるしできないきもある。

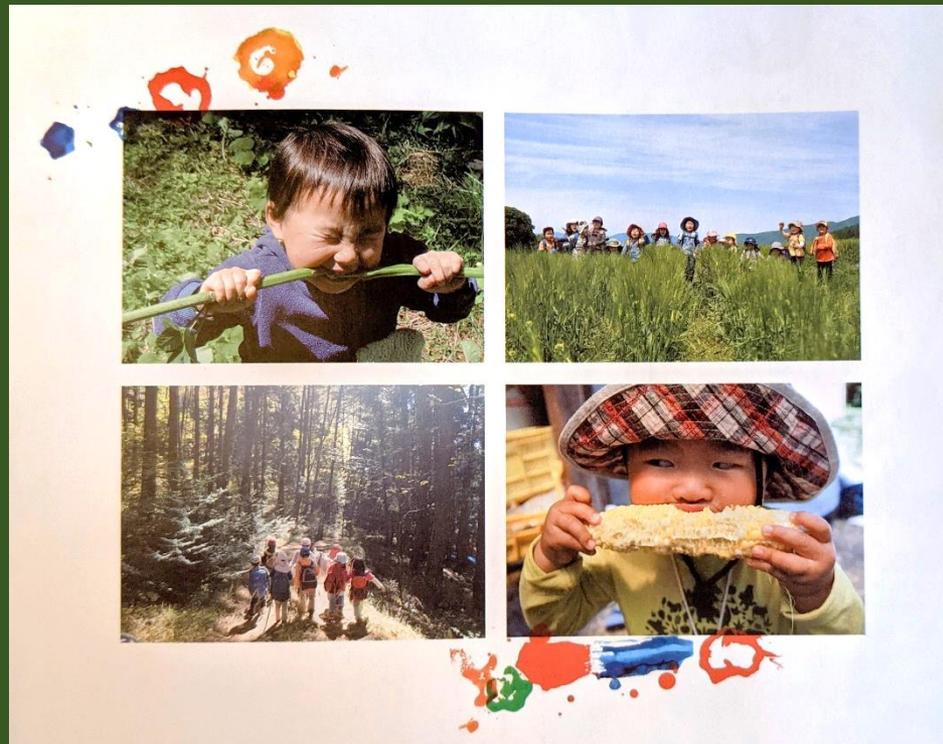
おなかがへったときは
きいちごとかあけびとかたべれば
おなかいっぱいになる。

もりとおわかれするのはさみしいなあとおもう。
だってはらぺこをそつえんすると
あまりもりにいけなくなってしまうから。

もりであそんでいて
せんせいがかえるよ～！
っていうとすごくざんねん。
もっとあそんでいたい。
もりはすごくたのしいの！

めいな（年中）

引用 はらぺこひゃくにん p44-p45 (907字)
(NPO法人 山の遊び舎はらぺこ 2019年11月発行)



これは長野県伊那市にある森のようちえん山の遊び舎はらぺこの卒園生（当時年中さん）が書いた900字を超える長い詩です。

森がどれほど楽しいか、どれだけ森が好きか。5歳ながらに知っている言葉のすべてを駆使して書かれています。

森のすばらしさを、この子以上に的確にわかりやすく説明できる大人がいるでしょうか。

この詩に出会った時、私はものすごく感動し、また多くのことを教えてもらいました。

そして幼児期にこうした経験をするのが、この子のその後人生に必ず大きな影響を与えるであろうことをはっきり想像しました。

こうした経験ができる子どもが一人でも多く増えることを願いますし、こうした経験をした子どもが大人になる頃には、きっと日本の森は豊かに再生し、人類の文明との共生も可能になるだろう、と確信します。

2008年ノーベル化学賞



下村 脩 (しもむら おさむ)

ボストン大学名誉教授

1928年 (昭和3年) 8月27日 -
2018年 (平成30年) 10月19日

子ども達にはどんどん
興味をもったことをや
らせてあげて。

**やり始めたらやめたら
ダメですよ。**

2016年ノーベル生理学・医学賞



大隅 良典 (おおすみ よしのり)

東京工業大学科学技術創成研究院
特任教授・栄誉教授

1945年 (昭和20年) 2月9日 -

大事なのは子ども時代に誰も
が持っている**これは何だろう
どうなっているんだろう**とい
う素直な気持ち。
自分が面白いと思った道を突
き進んでほしい。

2018年ノーベル生理学・医学賞



本庶 佑 (ほんじょ たすく)

京都大学名誉教授

1942年 (昭和17年) 1月27日 -

不思議だなと思う心を大切にす
る、教科書に書いてあることを
信じない、常に疑いを持って
本当はどうなっているのだろう
と。
自分の目でものを見る。納得す
る。あきらめない。一生をかける
ならリスクが高くてもやりたい
ことをすべき。